

重点プロジェクト(総合戦略) (素案叩き)

本市では、これまで第1期及び第2期の総合戦略、デジタル田園都市国家構想総合戦略を定め、各施策を着実に実行してきました。これまで得られた成果や地方創生の意識が途切れることのないよう、「まち」「ひと（自然動態）」「ひと（社会動態）」「しごと」の4つの分野を維持しつつ、地方創生2.0基本構想に基づき、国及び県の総合戦略を勘案した本市の総合戦略を、総合計画において重点的・横断的に取り組む4つの「重点プロジェクト」として位置付けます。

(1)4つの重点プロジェクトの概要

プロジェクトⅠ 持続可能で、ともに支え合う安心・安全なまちづくり【まち】

【コンセプト】

多様な主体との協働やデジタル技術の活用を原動力に、本市ならではの魅力と『暮らしやすさ』に磨きをかけ、誰もが安心・安全にウェルビーイングを実感できる持続可能なまちを創出します。

【具体的な戦略】

- ・市民が本市の卓越性である「暮らしやすさ」を実感し、誰もがウェルビーイングを実現しながら、生きがいを持って豊かに安心して暮らし続けるため、その基盤となる安心・安全な生活環境の確保と、持続可能なまちづくりを推進します。
- ・これまでの取組により、築いてきた本市の「暮らしやすさ」にさらに磨きをかけるため、公共交通の維持・充実、災害に強いまちづくり、「快適健康都市」の礎となる保健予防活動の推進や地域医療体制の構築などを官民協働で進めます。あわせて、住民・企業・大学・団体などの多様な主体が連携し、地域課題の解決や価値向上に主体的に関わる市民活動や協働の好事例を市内全域へ普遍化し、展開します。
- ・行政情報の分かりやすい公開・共有を進め、双方向型の開かれた市政を推進します。特に激甚化・頻発化する自然災害に対しては、デジタル技術を活用した伝達手段の多重化により情報を迅速かつ正確に発信し、市民の安心・安全を最優先に守る体制の強化を図ります。さらに、AIやデジタル技術を活用した行政サービスの変革、市民の利便性向上、庁内業務の効率化（DX・AX）を進めるとともに、公共交通、インフラ管理、防災対策などにも新技術を導入し、効率的で持続可能な都市経営を進めます。
- ・市街地や中心拠点では、地域の特徴を生かしながら、まちの活力を生み出す都市機能の適正な誘導と整備を進めるとともに、中山間地域においても、地域の特徴を生かした活力の創出と地域課題の解決、医療体制の確保などに取り組み、誰もが安心して暮らせる生活環境の維持・向上を図ります。また、中込地域に開業される映画館など、新たな地域の魅力となる民間の取組との連携や、人口の社会増の受け皿となっている佐久平駅周辺地区において、持続発展に資する新たな土

地利用を図ります。

- ・晴天率の高さや標高の高さなどの地域特性により、市内には JAXA の 2 基の大型パラボラアンテナが建設されています。この他にも、コスモタワーやうすだスタードーム、星形の城郭である龍岡城五稜郭など、宇宙や星と関連が深い貴重な地域資源を多数有することから、これら地域特性や地域資源を生かした魅力あるまちづくりを推進します。

プロジェクトⅡ 希望をかなえ、健やかに次世代を育むまちづくり【ひと(自然動態)】

【コンセプト】

子育てに伴う各段階に応じた切れ目のない支援や教育環境を充実することなどにより、誰もが安心して次世代を育み、こどもたちが健やかに成長できる魅力的なまちを創出します。

【具体的な戦略】

- ・人口減少を正面から受け止めつつ、多様な価値観を尊重しながら、希望する人が安心してこどもを生み、育てることができる社会を目指します。そのため、物価高騰に伴う経済的負担の増大など、若い世代が抱える不安の解消を図るとともに、少子化の要因や子育て世代のニーズを的確に捉え、妊娠期から出産・育児期まで各段階に応じた切れ目のない支援を推進します。
- ・社会の意識変容を促し、特に若者や女性から「選ばれる地域」としての魅力向上を図ります。あわせて、こども・子育て支援拠点施設を核とした伴走型支援体制を構築し、多様なニーズに応じたサービスの強化を進めます。こうした取組を通じて、地域全体でこどもの成長を支え、子育て世代の流入にもつながるまちづくりを推進します。
- ・こどもを取り巻く環境が大きく変化する中、孤立させない支援体制と、質の高い医療・教育環境を一体的に充実させ、誰もが安心して次世代を育み、こどもたちが健やかに成長できる環境を整えます。より豊かで魅力ある教育環境を創造することで、本市で子育てを希望する新たな人の流れにつながることも視野に入れ、探究的学びを通じた「学びの自走者」の育成や、「えらチャレ」などの当市ならではの特徴ある公教育を始めとする学びの充実を図ります。
- ・グローバル化や AI などのデジタル技術が浸透する社会に対応し、豊かな体験を通じて自ら課題を見つけ解決する主体性を持った、未来を担うこどもたちの育成を進めるとともに、多様な教育課題に対しても、誰一人取り残されることなく適切に対応します。

プロジェクトⅢ 多様な人が集い、活力の循環を生むまちづくり【ひと(社会動態)】

【コンセプト】

健康長寿や暮らしやすさなどの本市ならではの強みや豊かな地域資源を磨き上げて戦略的に発信し、市民の愛着や誇りを育むとともに、移住促進や多様な交流・滞在機会の創出を通じて、内外の人材が交差し活力が循環するまちを実現します。

【具体的な戦略】

- ・本市の卓越性である「暮らしやすさ」が評価され、近年、転入者が転出者を上回る社会増の傾向が続いていることから、デジタル技術を活用した情報発信などにより、移住先・滞在先としての関心をより一層高める取組を推進します。あわせて、若者や女性を始めとする市民の地域への愛着や誇りを育み、住み続けたい、将来戻りたいと思える意識の醸成を図ります。さらに、お試し移住や住まいに関する支援など、移住検討者のニーズに応じた施策を充実させ、都市部との共生関係を深めながら、二地域居住やテレワーク環境の普及、関係人口の創出を通じた、多様な人材の交差・循環や移住者と既存の地域住民との交流の推進などにより、外からの新しい視点と地域の内なる活力が混ざり合い、活気ある地域づくりを進めます。
- ・先人たちのたゆまぬ努力と、現在まで続く活動の積み重ねにより、本市は「地域医療の先進エリア」や「健康長寿のまち」として国内外において高く評価されています。この強みを生かし、保健・医療分野における視察の受け入れなどを行うことで、これら本市ならではの特徴を分かりやすく戦略的に発信し、ブランド価値を高め、さらなる人の流れを呼び込むとともに、市民自身が地域の価値を再認識し、シビックプライドを向上させる取組を推進します。
- ・豊かな自然や、日本に二つしかない五稜郭といった歴史、文化など、既存の地域資源の磨き上げや新たな地域資源の発掘を進めます。あわせて、本市にゆかりのあるアニメや漫画など、今後の成長に資する大きな可能性を秘めたコンテンツの活用を図ります。さらに、上質な果物、乳製品、卵などの生産としてケーキ作りに適した環境を有し、人口に対してケーキ店が多いことなど、本市ならではの地域の強みや特徴を生かした取組の充実、市町村合併を背景とした交流都市の多さを生かした「都市間交流」による戦略的な関係人口の創出を図り、来訪・滞在の機会を広げます。
- ・公共施設の計画的なマネジメントによる有効活用、既存市街地の賑わい創出、歴史的資産や自然環境を生かしたネットワークづくりを進めることで、市内外から多様な人が訪れ、滞在し、交流する機会の創出を強力に推進します。インバウンドをはじめとする観光客に対しては、山岳高原観光のゲートウェイとしての機能強化を図り、広域的な観光交流の拡大を図ります。

プロジェクトⅣ 稼ぐ力を高め、新たな挑戦を支えるまちづくり【しごと】

【コンセプト】

健康長寿や気候特性などの地域資源を生かした産業の高付加価値化と産学官連携によるイノベーションを推進し、若者の定着や女性の活躍をはじめ多様な人材が挑戦できる環境を整え、地域経済の「稼ぐ力」を持続的に高めるまちを実現します。

【具体的な戦略】

- ・ 地域経済を将来にわたり維持・発展させていくため、誰もが安心して働き、所得を得られる雇用環境の整備や、地域産業を担う人材育成など、地元企業の発展や事業拡大を支える環境づくりを進めます。さらに、健康長寿を始めとした本市の強みを最大限に生かした産業の創出と育成を推進するとともに、市内企業や地域産業の魅力を若い世代に伝えることで、若年層の流出抑制や、進学・就職を機に市外へ転出した人材の還流を促します。あわせて、就労マッチング、インターンシップの受け入れのほか、アニメや漫画などのコンテンツ産業の振興、ケーキ店の多さを生かした魅力ある地域産業などの充実により、若者が地域に関心を持ち、本市に根付きながら活躍できる仕組みの構築を進めます。
- ・ アンコンシャス・バイアスを排した意識改革や女性活躍推進の取組により、女性の経済的自立、多様な働き方の実現、社会進出、活躍を支援します。さらに、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方を広げるとともに、創業に挑戦する人材の支援や、多様な人々が交流し、新たな価値を生み出す機会の創出を進めます。
- ・ 佐久産業支援センターを核とした産学官連携による市内企業の経営基盤の強化や人材育成の支援に加え、既存産業に新技術や外部の知見を掛け合わせた新結合（イノベーション）を促し、新たな事業展開や起業への挑戦を支えることで、限られた人員や経営資源でも稼ぐ力を持った高付加価値な産業構造への転換につなげます。
- ・ 晴天率の高さや標高の高さによる冷涼な気候、昼夜の寒暖差といった気候特性を生かし、高品質な農産物の生産やブランド化、有機農業の推進などによる、農業の高付加価値化を図ります。あわせて、農林水産業におけるスマート技術やGX（グリーントランスフォーメーション）の積極的な導入促進により、新規就農者を含む多様な担い手の確保・育成、生産性の向上と脱炭素・環境負荷低減を一体的に推進します。
- ・ 健康長寿のブランドにさらなる磨きをかけるため、ヘルスケア関連産業などの強みを生かした新たなビジネスの創出を促進するとともに、佐久大学などとの連携により、医療・福祉を始めとした人材の育成支援にも取り組み、地域の産業を支える基盤の構築を図ります。

(2)重点プロジェクト(総合戦略)の進捗管理

4つの重点プロジェクトは、7つの政策分野に位置付けられた施策を横断的に推進する取組であることから、各重点プロジェクトに関連する施策に設定されたKPIの内、目標を達成したKPIの割合により、各重点プロジェクトの進捗を評価します。

評価に当たっては、関連施策ごとのKPIの達成状況を整理した上で、各重点プロジェクトとしての進捗状況や課題、今後の方針を総合的に把握します。

また、各重点プロジェクトに取り組むことで達成を目指す、重点プロジェクト全体の重要達成指標として、「①合計特殊出生率」および「②社会増減数」を設定します。

重点プロジェクトの重要達成指標	
① 合計特殊出生率	② 社会増減数
1.64 (参考)令和6年:1.24(健康づくり推進課)	450人／年間を維持 (参考)令和7年:413人(毎月人口異動調査)



各重点プロジェクトの達成指標			
【評価手法】 各重点プロジェクトに関連付けられた施策のKPIの内、目標を達成したKPIの割合で評価			
プロジェクトⅠ 【まち】	プロジェクトⅡ 【ひと(自然動態)】	プロジェクトⅢ 【ひと(社会動態)】	プロジェクトⅣ 【しごと】
68/68	36/36	47/47	26/26

※それぞれ100%の達成を目指す

(3)前期基本計画の各施策と重点プロジェクト(総合戦略)の関連表

重点プロジェクト（総合戦略）と「第三次佐久市総合計画前期基本計画」各施策との関連性は以下のとおりです。

将来都市像	第三次佐久市総合計画前期基本計画の施策体系			重点プロジェクト(総合戦略)			
	政策分野	主要施策	施策	プロジェクトⅠ 【まち】	プロジェクトⅡ 【ひと(自然環境)】	プロジェクトⅢ 【ひと(社会環境)】	プロジェクトⅣ 【しごと】
未来へつなぐ 変化に挑み 輝き続けるまちへ 快適健康都市 佐久	(1)教育・文化分野 豊かな体験から学び、 生きる力を育む まちづくり	将来を担うひとづくり	学校教育		○		
			高等教育・高等教育		○	○	
			青少年健全育成	○	○	○	○
		主体的な学びと文化の 熟成	文化・芸術	○		○	
			生涯学習	○	○	○	
			スポーツ	○		○	
		尊重され支え合う社会の 形成	人権尊重社会		○	○	
			男女共同参画社会		○	○	○
	(2)都市基盤分野 地域の特徴を生かした 強靱でつながりある まちづくり	地域の特徴を生かした 強靱なまちづくり	土地利用	○			
			市街地	○			
			公共施設	○		○	
			住宅	○	○	○	
		地域をつなぐ交通 ネットワークの形成	高速交通ネットワーク	○		○	
			地域交通ネットワーク	○		○	
	(3)経済・産業分野 誰もが輝き、活力と 魅力ある産業を育む まちづくり	豊かな自然を生かした 農林水産業の振興	農業	○			○
			林業				○
			水産業	○		○	○
		力強いものづくり産業の 振興	工業				○
			商業・サービス業			○	○
		活力と魅力ある商業・ 観光の振興	観光			○	○
			就労・雇用				○
	(4)保健・福祉分野 誰もが健やかで心豊かに 暮らし続けられる まちづくり	生涯にわたる健康づくりの 推進	健康増進		○		
			保健予防	○	○		
			医療	○	○		
			医療保険・国民年金	○			
		地域共生社会の実現	地域福祉	○	○	○	
			介護・高齢者福祉	○			○
			障がい者福祉	○			
			ひとり親家庭支援・低所得者福祉		○	○	○
		切れ目のない妊娠・出産・ 子育て環境の整備	母子保健		○		
			子育て支援・児童福祉	○	○	○	
	(5)自然環境・生活環境分野 豊かな環境と快適な暮らしが 調和する循環型のまちづくり	豊かな自然環境との 共生	環境保全	○	○		
			街並み緑化・公園・景観形成	○		○	
		良好な地球環境の保全 快適な生活環境の創出	地球温暖化対策	○			
			環境衛生	○			
			上下水道	○			
	(6)防災・安全分野 暮らしを守り支え合う安心と 安全のまちづくり	市民の暮らしを守る体制の 強化	防災	○			
			消防・救急	○		○	
			交通安全	○			
			防犯	○	○	○	
			消費生活	○			
	(7)協働・交流分野 ひとと地域の未来を拓く 協働と交流のまちづくり	市民の未来を拓く地域 社会の実現	市民協働・参加	○	○	○	
			地域コミュニティ	○	○	○	
			行財政経営	○			○
			高度情報通信ネットワーク	○	○	○	○
		地域の未来を拓く交流と 連携の推進	関係人口・定住人口・交流			○	
			広域連携	○			